

## 令和元年度第2回理事会議事録

静岡県国民健康保険団体連合会

### 1 開催日時及び開催場所

令和2年2月7日（金）午後2時30分～午後4時10分

ホテル アソシア静岡 4階「カトレア」 静岡市葵区黒金町56番地

### 2 出席者の氏名

#### (1) 理事 9名

理事長	原田 英之（袋井市長）
副理事長	太田 順一（菊川市長）
常務理事	萩原 綾子（学識経験者）
理事	須藤 秀忠（富士宮市長）
	若林 洋平（御殿場市長） 太田 長八（東伊豆町長）
	太田 康雄（森町長）
	永田 好一（静岡県建設産業国保組合理事長）
	佐古 伊康（しずおか健康長寿財団理事長）

#### (2) 監事 3名

	杉本 基久雄（牧之原市長） 仁科 喜世志（函南町長）
会員外	畔村 勇次（公認会計士）

#### (3) 書面表決による出席者 4名

副理事長	田村 典彦（吉田町長）
理事	染谷 絹代（島田市長）
	中野 弘道（焼津市長）
	小野 登志子（伊豆の国市長）

### 3 理事会の議事の経過及びその結果

#### (1) 理事会の成立

理事総数13名のうち9名の本人出席及び4名の書面表決による出席があり、規約第30条に規定する定数に達したため、理事会は有効に開催された。

#### (2) 理事長挨拶

- ・日ごろの国保連合会の事業運営への理事・監事の協力に対する謝辞。
- ・令和2年度の診療報酬改定について、本体部分を0.55%引き上げ。
- ・一方で、薬価や材料価格を1.01%引き下げ、全体で0.46%相当のマイナス改定となる予定。
- ・中医協委員が国民の声を聴く機会を設けることを目的とした地方公聴会が先月1月24日に富士市で開催。

- ・この公聴会へは、中医協の委員として参加いただいている島田市長の染谷理事が出席。
- ・また、富士市の国保年金課長から行政と医療機関によるより一層の連携強化が医療費の削減に繋がることや、検査データの収集体制の整備を期待する旨の意見発表がなされた報告を受けている。
- ・政府の全世代型社会保障検討会議による中間報告として、厚生年金の適用範囲を2024年10月までに50人を超える規模の企業まで段階的に拡大、年金受給開始時期を75歳まで選択可能とする見直し等の検討について報告がなされた。
- ・静岡県国保については、県が保険者となりゆくゆくは保険料が統一されることになる。
- ・来年度中に保険料統一の時期について検討予定。
- ・佐古理事が、国保連合会の役員として国保事業に大変貢献されたことに対して、国保中央会会長から表彰された。
- ・佐古理事は、15年を超える長きに亘り医師という立場と医療分野における学識経験者としての知識と経験を活かし、本会の事業運営に対し御指導、御助言をいただいた。
- ・本日、諸規則の改正と2月27日の第2回通常総会に提出する令和2年度事業計画案等について、御審議をお願いしたい。

### (3) 県国民健康保険課長挨拶

- ・国民健康保険及び介護保険に係る円滑な事業運営に対する謝辞。
- ・また、県の健康福祉行政に対する理解と支援への謝辞。
- ・国保に関して、昨年度から県が国保の保険者となり、財政運営の責任主体として、国保運営の中心的な役割を担うこととなり、県に国民健康保険特別会計を設置。
- ・市町より事前に納付金を納めていただき国費等を含めて、県が一括して財政運営を行い、1年目に引き続き、2年目も財政安定化基金等の他の財源を使うことなく、無事に終了する見込みとなっている。
- ・来年度予算については、2月13日に当初予算案が公表され、2月27日から県の本会議が開催、3月18日の閉会日に議決され予算が確定される運び。
- ・事業運営については、県の国保運営方針に臨み保険料の徴収や保険給付の適正な実施、医療費適正化のための保健事業等を市町と共に行っており、着実に成果が出ていると思っている。
- ・介護保険に関しては、地域包括ケアのシステムの実現、及び介護給付適正化の取り組みに多大な御理解、御協力いただいた。
- ・来年度は、県の介護保険事業支援計画及び市町の介護保険事業計画の策定年となっているので、御協力をお願いしたい。
- ・今後も国保及び介護をはじめとした県の健康福祉事業全般にわたり、市町及び

国保連合会と連携し発展していきたいため、御協力をお願いしたい。

(4) 議長選出及び議事録署名人選任

規約第 28 条の規定に基づき、原田理事長が議長となって議事を開始した。  
また、規約第 31 条の規定により、理事 2 名が議事録署名人に選任された。

(5) 議案及びその審議状況

①議案

・議決事項

- ・議案第 1 号 職員の給与に関する規則の一部を改正する規則
- ・議案第 2 号－ 1 令和元年度静岡県国民健康保険団体連合会 4 特別会計歳入歳出補正予算
- ・議案第 2 号－ 2 令和元年度静岡県国民健康保険団体連合会財政調整基金積立資産の処分
- ・議案第 2 号－ 3 令和 2 年度静岡県国民健康保険団体連合会事業計画
- ・議案第 2 号－ 4 令和 2 年度静岡県国民健康保険団体連合会一般会計ほか 7 特別会計歳入歳出予算
- ・議案第 2 号－ 5 令和 2 年度静岡県国民健康保険団体連合会事業運営資金積立金の処分
- ・議案第 2 号－ 6 令和 2 年度静岡県国民健康保険団体連合会減価償却引当資産の処分
- ・議案第 2 号－ 7 令和 2 年度静岡県国民健康保険団体連合会退職給付引当資産の処分
- ・議案第 3 号 令和元年度静岡県国民健康保険団体連合会第 2 回通常総会の招集
- ・議案第 4 号 事務局長の任免

②審議状況

<議決事項>

議案第 1 号： ○別添議案書の議案第 1 号により、事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第 2 号： ○別添議案書の議案第 2 号－ 1 から第 2 号－ 2 により、事務局から提案説明があった。  
(第 2 号－ 1 から第 2 号－ 2 まで)  
(理事長)

- ・いずれも増額の補正というのは、見込みの時に推測できなかった事項があったということか。

(事務局)

- ・全体的に、これまで伸び率等を使用して積算してきたが、高額薬剤の出現等が伸び率に反映できていなかったことが原因と考える。

○その後採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第2号：  
(第2号-3から  
第2号-4まで)

○別添議案書の議案第2号-3から第2号-4により、事務局から提案説明があった。

(理事長)

- ・私はいつも、会計別歳入歳出予算の国保 1.9%、介護 4.7%、後期 7.8%の支払勘定伸び率が、市の予算の組み立て時にこの数字と近いものになっているかを確認している。

(理事)

- ・データ分析に関しては、この施策をどのように新しく組み入れるかが非常に大事なことである。100万程度で出来る内容は限られてくると推測するが、実際にデータ分析を実施して、どのようなものが出てくるのか。

(事務局)

- ・例えば、糖尿病の分析であれば、合併症等多角的な分析の実施を想定しているが、まずは、そのための知識を職員が習得することを目的としている。
- ・データ分析に関して、国が定めたレセプト上の診療内容には精通していても、医療そのものについては素人であるため、大学の先生や生徒から助言等をいただき専門的知識を有する職員を育成する。
- ・県内保険者が取り組む健康事業の水準の底上げ、国が導入しているインセンティブ制度による交付金の獲得支援を図ることを目的とした分析を想定している。

○その後、質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第2号：  
(第2号-5から  
第2号-7まで)

○別添議案書の議案第2号-5から第2号-7により、事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第3号：

○別添議案書の議案第3号により、事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第4号：

○別添議案書の議案第4号により、常務理事から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

- 4 議長の氏名  
原田 英之（理事長）

この議事録が正確であることを証するため、記名押印する。

令和2年2月7日

議 長  
静岡県国民健康保険団体連合会 理事長

袋井市長 印

議事録署名人

菊川市長 印

東伊豆町長 印